

# 1章 共通事項

## 1. 1 数値基準

### 1. 1. 1 資材等の設計数値

種別	区分	単位	数 位	単価表数値	備 考
塗 装		m <sup>2</sup>	1 0	1	100 m <sup>2</sup> 未満は1 m <sup>2</sup>
流 木 処 理		m <sup>3</sup>	1 0	1	
護 岸 付 属 金 物		kg	1	0. 1	
運搬路維持補修延長		m	1 0	1	
防 塵 延 長		m	1 0	1	
給 水 距 離		m	1 0	1	
樋 門 量 水 標		m	1	0. 1	m単位切り上げ
樋門耐圧ゴムプレート		m	0. 1	0. 1	
コーナシート		m	1	0. 1	
耳 芝		m	1 0	1	100m 未満は 1m

(備考)

- 1) 設計数値に満たない場合は、有効数値1位の数量とする。(下1桁で四捨五入)
- 2) 一次単価(当り単価)は、設計表示数値の1桁下位の数値、これに満たない場合は有効数値1位とする。
- 3) 数量は表示数量の1桁下位の数値を四捨五入して求めるものとする。

### 1. 1. 2 『P 1-1-5 「2. 数量の丸め」の例』

検収区分の内訳数量の丸め方法は、下記を参考とし、設計表示単位の1位下位の単位で丸めるものとする。

なお、内訳数量は、設計表示単位と同様に4捨5入とする。

#### 例1) 1, 000 m<sup>3</sup> 以上の場合 (1)

名 称	施 工 幅	単位	計算数量	設計数量	備 考
盛土1	4.0m 以上	m <sup>3</sup>	1, 855. 2	1, 890	調整
盛土2	2.5m 以上 4.0m 未満	m <sup>3</sup>	1, 255. 3	1, 260	
盛土3	2.5m 未満	m <sup>3</sup>	151. 6	150	
計		m <sup>3</sup>	3, 262. 1	3, 300	(検収区分)

#### 例2) 1, 000 m<sup>3</sup> 以上の場合 (2)

名 称	施 工 幅	単位	計算数量	設計数量	備 考
盛土1	4.0m 以上	m <sup>3</sup>	1, 855. 2	1, 830	調整
盛土2	2.5m 以上 4.0m 未満	m <sup>3</sup>	1, 255. 3	1, 260	
盛土3	2.5m 未満	m <sup>3</sup>	8. 3	10	
計		m <sup>3</sup>	3, 118. 8	3, 100	(検収区分)

#### 例2) 1, 000 m<sup>3</sup> 未満の場合

名 称	施 工 幅	単位	計算数量	設計数量	備 考
盛土1	4.0m 以上	m <sup>3</sup>	580. 2	583	調整
盛土3	2.5m 未満	m <sup>3</sup>	36. 7	37	
計		m <sup>3</sup>	616. 9	620	(検収区分)